

事務事業名	子ども読書まつり実施事業(合志)					☒ マニフェスト関連		☒ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
施策名	21	生涯学習の推進				所属係	図書館班	課長名	野本 立一
基本事業名	78	学習やスポーツへの参加機会の提供				担当者名	中山清美	電話番号 (内線)	248-5754 1540
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 08	事業	法令根拠	図書館法第3条(図書館奉仕) 合志市立図書館条例第5条		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 平成9 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ①おはなし会(図書館司書・中学生・ボランティアが出演)②主人公体験 ③科学遊び体験④おはなしの小道具製作体験 (業務の内容) チラシ作成及び合志市立小学校・市内幼稚園・保育園への配布・出演者交渉・作品製作会場設営・製作物 材料の購入及び下準備 (予算の内訳) 報酬(非常勤職員の手当)・時間外勤務手当・印刷製本費(チラシ・ポスター印刷)・食糧費(実行委員ボラン ティア昼食代)・消耗品費(材料代)						総 投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計 (A)	0
								正規職員従事人数	
								延べ業務時間	
								人件費計 (B)	0
								トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

「ヴィーブル」2階全域を使用して5月7日(日)に開催。①おはなし会②主人公体験(迷路をくぐるとグリムワールド『いばらひめ』③科学遊び体験・製作(スーパーボールを作ろう)④作って遊ぼうお話の小道具作り(わらぶき屋根の家)

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ
(5月12日(土)に開催)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等
図書館利用者及び乳児から一般

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 開催回数	回
イ 行事参加者数(延べ人数)	人
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 開催日の図書館利用者	人
イ 合志市内の乳幼児から小・中学校の児童生徒数	人
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 合志市内の乳幼児・小・中学校の児童生徒数に対する参加者の割合	%
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 学習やスポーツに親しむ機会があると思う市民の割合	%
イ	
ウ	

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

図書館利用や読書活動に親しんでいる対象者は勿論であるが、関わりがない対象者に対し、事業を通し積極的に読書活動推進をする。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

読書活動推進を図り、合志市の未来を担う子どもたちに対し心豊かな心身ともに健康な成長を促す。

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			240	244	244	244	244
			事業費計 (A)	千円	0	0	240	244	244	244	244
	人件費		正規職員従事人数	人			2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間			50	50	50	50	50
			人件費計 (B)	千円	0	0	199	199	199	199	199
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	439	443	443	443	443
活動指標			アイウ	回数			1	1	1	1	
			人			1,140	1,796	1,900	2,100	2,200	
対象指標			アイウ	人			208	207	210	210	220
			人			8,881	8,946	8,950	8,970	8,990	
成果指標			アイウ	%			12	20	21	23	24
			人								
上位成果指標			アイウ	%							
			人								

合志市

事務事業名	子ども読書まつり実施事業(合志)	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成9年5月 子どもの読書活動の推進及び図書館利用の促進を図る目的により開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

『子どもの読書活動推進に関する法律』が、平成13年12月に制定され、自治体における読書活動推進事業の実施が義務付けられている。参加者は年々増加の一途にあり、平成16年4月 文部科学大臣表彰の要因になった全国的に評価されている事業である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

図書館職員が主になり、小中高大学生と一般のボランティアが協力して実施している。人員配置の都合で一日だけの開催であることは、準備に要する手数を考えると勿体ない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】  子育て支援日本一の市を目指す合志市において、子どもたちに対し心豊かな心身ともに健康な成長を促す事業を実施することは重要なことである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】  この事業を実施することは、合志市の未来に対する投資であり、心身共に健全な子どもは未来の税金納入者となり得る。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】  対象、意図共に現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】  予算の有効活用の観点から、対象者がより参加しやすい状況設定をし、参加者数増加を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】  職員・ボランティアが協力して実施している全国的に評価される事業であり、その有効性と照合すると、事務事業の廃止・休止は論外である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】  周辺自治体や民間事業にも、類似の目的をもつ事業が他に無い。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】  事務事業の開始時点において、住民ボランティアの協力を得て、必要最低限度の予算で運営してきた。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】  合志図書館においては、他市町村の正職員数の割合は、県内でも下位で85%が非常勤職員で運営して来ている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】  ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】  図書館法により無料の原則に則って運営している。

合志市

事務事業名	子ども読書まつり実施事業(合志)	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

②有効性については
予算の有効活用の観点から、対象者がより参加しやすい状況
設定をし、参加者数増加を図る。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

・参加者の更なる増員を図るために、市立小中学校に対し説明等を実施して、子どもたちが、本事業へ
より参加しやすい状況を設定する必要がある

(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 学校代表者に対し、事業説明をし理解と協力を求める。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項